

MRI 検査 造影剤使用の説明書・問診票・同意書

1. MRI 造影剤とは

MRI 検査ではより詳しく検査を行うために、造影剤（ガドリニウム）の静脈注射を行う場合があります。安全性の高い薬ですが副作用がまったくないわけではありません。

2. 造影剤の副作用

造影剤使用時に起こり得る副作用

○軽い副作用：かゆみ、吐気、嘔吐、発赤、発疹、頭痛、くしゃみ等で、基本的には治療は不必要です。頻度は 100 人に 1 人程度です。

○重い副作用：呼吸困難、意識障害、血圧低下、ショック等で緊急に治療が必要となります。頻度は 1 万人に 1 人程度です。

症状・体質によっては、100 万人に 1 人程度の割合で死亡にいたる場合もあります。

3. 造影剤の注射方法

造影剤は静脈に注射します。注射する際、まれに造影剤が血管の外に漏れる場合があります。基本的には時間が経てば吸収されるので心配ありません。

非常にまれですが、漏れた造影剤が多い場合には別の処置が必要になることもあります。

4. 注意点

○検査中に異常を感じた時には、副作用に対応するためにすぐにお知らせ下さい。

検査後に異常はなくても、数時間～数日の間に副作用が現れることがあります。

○乳汁中への移行量は、使用した造影剤量の 0.004% 以下とごくわずかですが、検査後 24 時間は授乳を避けて下さい。

5. 問診

副作用が出現した場合は、すぐ対応できるように準備は整えていますが、ある程度これらの副作用を予知し、安全に検査ができるように以下の質問にお答えください（□に☑）

(1) 造影剤を用いた検査を受けたことがありますか	☐ はい ☐ いいえ 検査名： ☐ MRI ☐ CT ☐ その他（ ） ☐ 不明
(2) その際に副作用がありましたか	☐ はい ☐ いいえ 症状： ☐ 吐気、嘔吐 ☐ じんま疹 ☐ 呼吸困難 ☐ その他（ ）
(3) 気管支喘息がありますか	☐ はい ☐ いいえ

MRI 造影検査同意書

MRI に使用する造影剤について内容を理解できましたので、造影 MRI 検査を受けることに同意します。

令和 年 月 日

氏名 代筆者名 (患者との続柄：)

説明医師